

(2) 調査結果

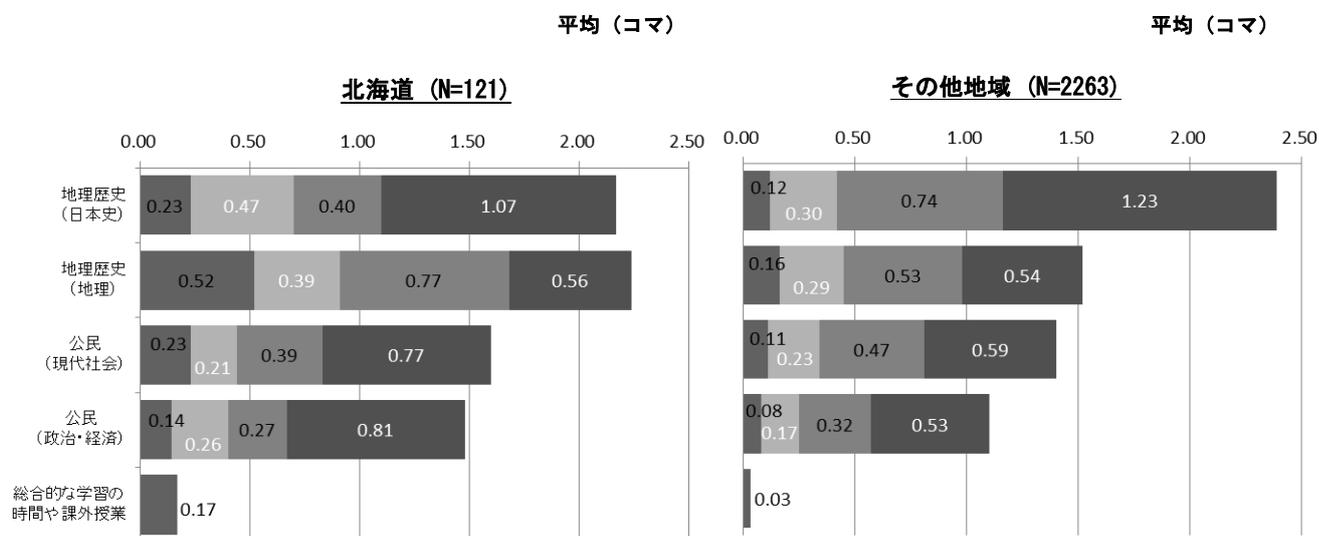
a. 昨年度（平成 26 年度）の授業内容について

① 「北方領土」に関する授業実施時間数

- ・ 平成 26 年度に実施された北方領土に関する授業では、1 時間のうちに割く時間が少ないほど、コマ数の平均が多い傾向。
- ・ 教科分野別では、日本史で多く実施されている。

Q2. 昨年度（平成 26 年度）、あなたの学校では、「北方領土」に関する授業をどの位の時間、行いましたか？以下の空欄に、授業時間数をお答え下さい。

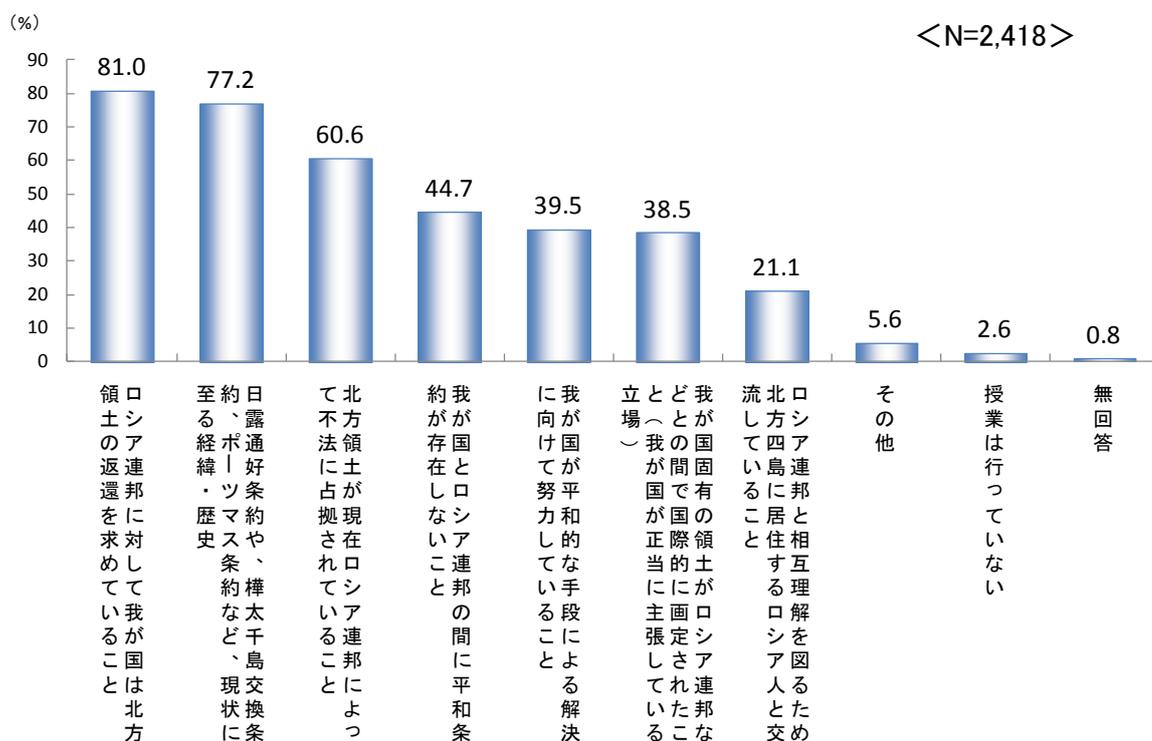
- 1時間のうち、ほとんどの時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、半分以上の時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、4分の1以上の時間を割いた授業の数
- 1時間のうち、4分の1未満の時間を割いた授業の数



② 実施した「北方領土」に関する授業内容

・ 平成 26 年度に実施された「北方領土」に関する授業内容は、「ロシア連邦に対して我が国は北方領土の返還を求めていること」「現状に至る経緯・歴史」が 8 割程度と高く、次いで「北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること」は 6 割程度となっている。

Q3. 昨年度（平成 26 年度）、あなたの学校では、「北方領土」に関するどのような内容の授業を行いましたか？（○はいくつでも）



4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

< 詳細 >

		N	ロシア連邦に対して我が国は北方領土の返還を求めていること	日露通好条約や、樺太千島交換条約、ポーツマス条約など、現状に至る経緯・歴史	北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	我が国とロシア連邦の間に平和条約が存在しないこと	我が国が平和的な手段による解決に向けて努力していること	我が国固有の領土がロシア連邦などの間で国際的に画定されたこと(我が国が正当に主張している立場)	ロシア連邦と相互理解を図るため北方四島に居住するロシア人と交流していること	その他	授業は行っていない	無回答
全体		2418	81.0	77.2	60.6	44.7	39.5	38.5	21.1	5.6	2.6	0.8
Q1. 担当教科 (MA)	地理歴史(日本史)	942	76.6	◎ 92.0	56.5	○ 52.4	35.1	41.9	17.7	5.0	2.4	0.6
	地理歴史(地理)	699	○ 87.0	△ 70.0	○ 68.0	△ 36.2	○ 45.2	40.2	○ 27.2	6.9	1.7	0.9
	公民(現代社会)	589	82.5	△ 67.7	63.5	△ 37.0	41.1	34.0	22.6	5.3	3.4	1.2
	公民(政治・経済)	335	79.4	△ 67.5	△ 53.7	○ 51.9	39.1	△ 32.2	17.9	5.7	3.6	1.2

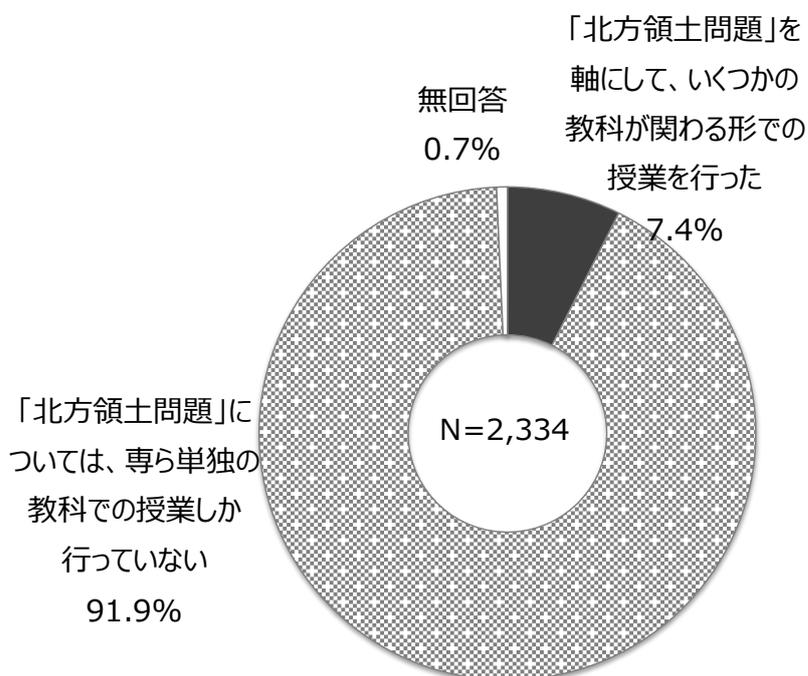
※◎：全体より10ポイント以上高い、○：全体より5ポイント以上高い、▲：全体より10ポイント以上低い、△：全体より5ポイント以上低い

4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

③ 「北方領土問題」を軸とした地理歴史・公民に関わる授業
授業実施の有無

- ・ 『北方領土問題』を軸にして、地理歴史・公民に関わる形での授業を行った」学校は7.4%。
- ・ 北海道では「地理歴史・公民に関わる形での授業を行った」学校は5.4%で、その他地域の7.4%をやや下回る。

Q4. 昨年度（平成26年度）、あなたの学校では、「北方領土問題」を軸にして、地理歴史（日本史及び地理）、公民（現代社会及び政治経済）に関わった形での授業を行いましたか？（〇は一つだけ）



4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

< 詳細 >

		N	「北方領土問題」を軸にして、いくつかの教科が関わる形での授業を行った	「北方領土問題」については、専ら単独の教科での授業しか行っていない	(%) 無回答
全体		2334	7.4	91.9	0.7
Q1. 担当教科 (MA)	地理歴史(日本史)	913	7.0	92.1	0.9
	地理歴史(地理)	681	7.9	91.6	0.4
	公民(現代社会)	562	8.5	90.9	0.5
	公民(政治・経済)	319	6.9	91.8	1.3
地域	北海道	111	5.4	93.7	0.9
	その他地域	2191	7.4	91.9	0.6

※◎：全体より 10 ポイント以上高い、○：全体より 5 ポイント以上高い、▲：全体より 10 ポイント以上低い、△：全体より 5 ポイント以上低い

④ 実施した授業内容

- ・ 『北方領土問題』を軸にした授業として、国境をテーマにするなかで、歴史や経緯、地理的な内容を含めて話しているもの、歴史的経緯（地歴）と国際司法裁判所（公民）を含めて、授業に取り上げている例などが挙げられた。

Q5. 「北方領土問題」を軸にして、どのような形で、地理歴史（日本史及び地理）、公民（現代社会及び政治経済）に関わる授業が行われましたか？以下の空欄にご記入下さい。

【回答一部抜粋】

- 歴史的背景の説明と日本の主張の正当性を客観的事実から説明していく展開していく授業。Google mapでの北方領土の表記法を提示。日本で発行された切手における北方領土の表記法。
- 歴史的経緯（地歴）と国際司法裁判所（公民）を利用するか否かを扱った。
- 日本の国境の話の中で、歴史、経緯、地理的に実施。
- 国家の主権が及ぶ範囲としての国家の領域として、ロシアとウクライナ間のクリミア半島の領有権の問題と比較して展開した。
- （1）北方領土問題の歴史的経緯 1800日本の土地支配～1931サンフランシスコ平和条約の説明（2）北方領土問題の新聞記事を続いでのディベート（3）発表グループごと
- 日露和親条約、樺太千島交換条約、8月15日降の千島占領、日ソ共同宣言等、北方領土に関する項目の度に確認をさせている。
- 政治・経済の授業で、北方領土に関するビデオを視聴し、証言や歴史的経緯を把握させ、班で話し合い、意見を発表する。日本史Bでは、既習事項として、授業でそれらを確認する。

⑤ 「北方領土問題」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な情報

- ・ 「北方領土問題」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な情報として、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(歴史的経緯/問題の経緯)を挙げている人が多くなっている。
- ・ その他では、「現在の北方領土(北方四島)の状況・様子」「北方四島に居住する人々の様子、話」「元島民の体験談」など。
- ・ 具体的に記載されているものでは、「マスメディアの取り上げ方」、「ロシア首相の訪問、ビザなし交流の新聞記事」、「アイヌ民族史を含む北方領土の歴史」などの意見が挙げられた。

Q6. 北方領土に関するどのような情報が活用できれば、あなたが担当する生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうことができると考えますか？以下の空欄にご記入下さい。

	高校
北方領土問題の歴史・問題の経緯(歴史的経緯/問題の経緯)	423 (件)
歴史的な背景	42
北方領土(北方四島)の自然、地理	61
北方領土の産業、文化	60
元島民の体験談	73
北方四島に居住するロシア人の話	38
北方四島に居住する人々の様子、話	246
現在の北方領土(北方四島)の状況・様子	281
戦前の北方領土(北方四島)の様子	45
北方領土が日本固有の領土であることの根拠	56
北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	92
我が国が北方領土の返還を求めていること	60
返還要求運動の具体的内容	2
現在の日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	47
これまでの日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	15
北方領土返還のメリット(不法占拠されていることのデメリット)	16
ロシア人の北方領土問題の捉え方・考え方(日露の考え方の違い)	71
日本人の北方領土問題の捉え方・考え方	10
双方の北方領土問題の捉え方・考え方	36
他国の人(日本・ロシア以外)の北方領土問題の捉え方・考え方	9
北方領土問題を分かりやすく解説したもの	125
教材としての情報	559
その他	493

【具体的な意見】

- 北方領土で生活していた人々の暮らし。
- 第二次大戦やその結果、実効支配等の話。
- マスメディアの取り上げ方。
- 北方領土の現状、北方領土における地理的状況など。
- ロシア首脳への訪問、ビザなし交流の新聞記事。
- 現在の北方領土における人口や産業やあらゆる統計資料。
- ソ連に占拠される1945年以前の北方四島に住む人々の生活の様子等。
- アイヌ民族史を含む北方領土の歴史
- ロシア側の立場に立った見解、国際的な評価、将来の見通し

⑥ 「北方領土問題」に対する理解を深めてもらう上で、効果的な教材

- ・ 「北方領土周辺地図や関係年表で教員による加工が容易なもの 学習指導案やワークシート」、「ライブカメラなどで、現地の人々の様子を見たり、会話できるようなもの」、「元島民の方の肉声」などといった意見が挙げられた。

Q7. 北方領土に関するどのような教材が活用できれば、あなたが担当する生徒の皆さんに、北方領土に対する理解を深めてもらうことができると考えますか？以下の空欄にご記入下さい。

【情報内容】	(件)
北方領土問題の歴史・問題の経緯(歴史的経緯/問題の経緯)	270
歴史的な背景	23
北方領土(北方四島)の自然、地理	62
北方領土の産業、文化	27
元島民の体験談	38
北方四島に居住するロシア人の話	10
北方四島に居住する人々の様子、話	95
現在の北方領土(北方四島)の状況・様子	55
戦前の北方領土(北方四島)の様子	26
北方領土が日本固有の領土であることの根拠	22
北方領土が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていること	27
我が国が北方領土の返還を求めていること	26
返還要求運動の具体的内容	1
現在の日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	30
これまでの日本の対応・取り組み・行動(政府の対応)	4
北方領土返還のメリット(不法占拠されていることのデメリット)	6
ロシア人の北方領土問題の捉え方・考え方(日露の考え方の違い)	34
日本人の北方領土問題の捉え方・考え方	12
双方の北方領土問題の捉え方・考え方	27
他国の人(日本・ロシア以外)の北方領土問題の捉え方・考え方	4
北方領土問題を分かりやすく解説したもの	305
【メディア・ツール】	
教材全般	507
視聴覚・視覚	202
映像・動画	653
写真・画像	211
年表	68
地図	230
WEB	40
パソコン・デジタル	33
プレゼンテーション	38
図表・統計データ	45
パンフレット・冊子	175
絵・イラスト	20
アニメ	14
教科書	109
マンガ	19
副教材・資料集	64
時間	51
ニュース・新聞	19
その他	429

【具体的な意見】

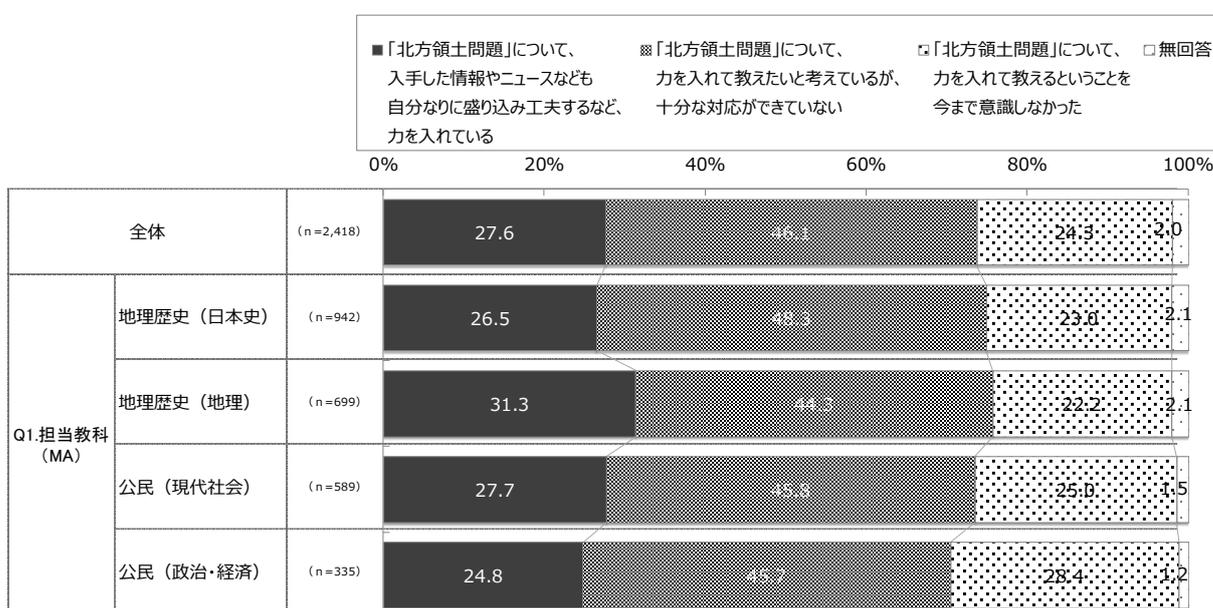
- 北方領土周辺地図や関係年表で教員による加工が容易なもの 学習指導案やワークシート。
- 教科書における詳しい記述。
- 国際関係論の理論をわかりやすく説明した資料。リアリズムとリベラリズムなどの基本的な考え方を北方領土問題に則して説明した資料。
- 学習資料やワークシートなど。
- ライブカメラなどで、現地の人々の様子を見たり、会話できるようなものがあるとよいのではないかと思う。
- 北方領土に関する歴史・歴史的経緯を15分程度にまとめたDVD（コンパクトにまとめると、地図上での確認などの作業ができるから）。
- 地図や写真の多い、わかりやすいもの。
- 「ジョバンニの島」(映画)、元島民の方の肉声。
- 写真だけでなく、現状を常に伝えられるもの。
- DVD (ドラマ)
- 元島民の方々のインタビュー映像などがあれば身近な問題として考えやすい。
- ゲーム感覚で、1問1答式で答えられる電子教材があるといいと思います。
- グーグルマップなどを利用した地政学的な教材。

4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

⑦ 「北方領土問題」に関する授業への取り組み姿勢

- ・ 「北方領土問題」に関する授業への取り組みとして、「『北方領土問題』について、入手した情報やニュースなども自分なりに盛り込み工夫するなど、力を入れている」との回答は27.6%。
- ・ 「『北方領土問題』について、力を入れて教えたいと考えているが、十分な対応ができていない」との回答は46.1%となっている。
- ・ 地理を担当する教員が、特に積極的な姿勢をみせている。

Q8. あなたは、北方領土問題を授業で教えることについて、どのように考えて取り組まれてきましたか？（○はひとつだけ）



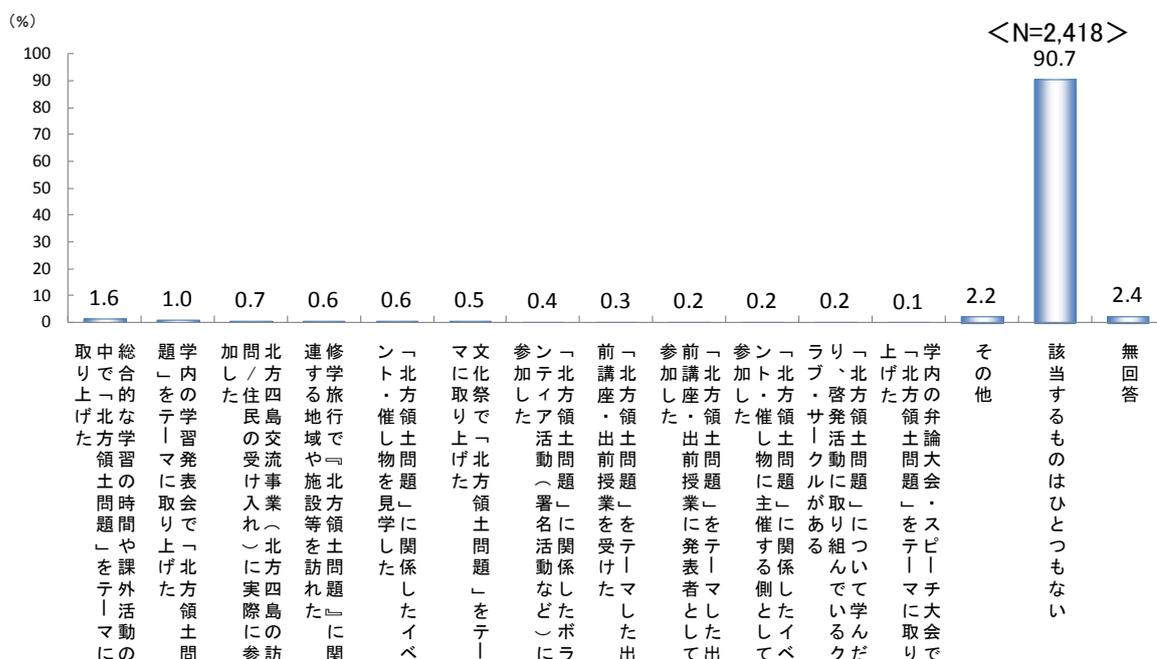
4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

b. 昨年度(平成26年度)の授業内容について

① 生徒が実施、もしくは参加した「北方領土問題」を扱った取り組み

- ・ 生徒が実施、もしくは参加した「北方領土問題」を扱った取り組みでは、「総合的な学習の時間や課外活動の中で『北方領土問題』をテーマに取り上げた」が最も多く、1.6%。
- ・ 地域別では、北海道で「北方四島交流事業に実際に参加した」など積極的に取り組んでいる。

Q9. あなたが勤務されている高等学校のクラス、生徒さんは、「北方領土問題」を扱った以下のような取り組みを行いましたか？(○はいくつでも) ※概ね3年以内の取り組みとしてお考え下さい。



【その他の回答内容一覧】

- ・ 標語・キャッチコピーをみんなで考え、応募
- ・ 授業内で討論のテーマとして取り上げた
- ・ 授業を通して「北方領土問題」を取り上げた
- ・ 授業
- ・ 自由課題レポートの作成
- ・ 意見の発表
- ・ 作文の提出
- ・ 授業で部分的に教える
- ・ 授業で取り扱ったのみ
- ・ 授業で取り上げた
- ・ 道東地域への訪問
- ・ 生徒を北方領土問題対策協会の現地研修に参加させた
- ・ 課題レポート

4. 北方領土問題に関する高等学校基礎調査(アンケート調査)

< 詳細 >

		N	方領土問題」をテーマに取り上げた	総合的な学習の時間や課外活動の中で「方領土問題」をテーマに取り上げた	学内の学習発表会で「北方領土問題」をテーマに取り上げた	北方四島交流事業(北方四島の訪問/住民の受け入れ)に参加した	域や施設等を訪れた	修学旅行で『北方領土問題』に関連する地域や施設等を訪れた	し物を見学した	文化祭で「北方領土問題」をテーマに取り上げた	活動(署名活動など)に参加した	「北方領土問題」をテーマとした出前講座・出前授業を受けた	「北方領土問題」をテーマとした出前講座・出前授業に発表者として参加した	「北方領土問題」をテーマとした出前講座・発表者として参加した	「北方領土問題」に関係したイベント・催し物に主催する側として参加した	ある	活動に取り組んでいるクラブ・サークルが	「北方領土問題」について学んだり、啓発活動に取り組んでいるクラブ・サークルが	学内の弁論大会・スピーチ大会で「北方領土問題」をテーマに取り上げた	その他	該当するものはひとつもない	無回答
全体		2418	1.6	1.0	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	2.2	90.7	2.4	
地域	北海道	121	1.7	0.0	◎ 7.4	0.0	1.7	3.3	5.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	4.1	▲ 82.6	2.5		
	その他地域	2263	1.6	1.1	0.4	0.6	0.6	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	2.1	△ 91.3	2.3		

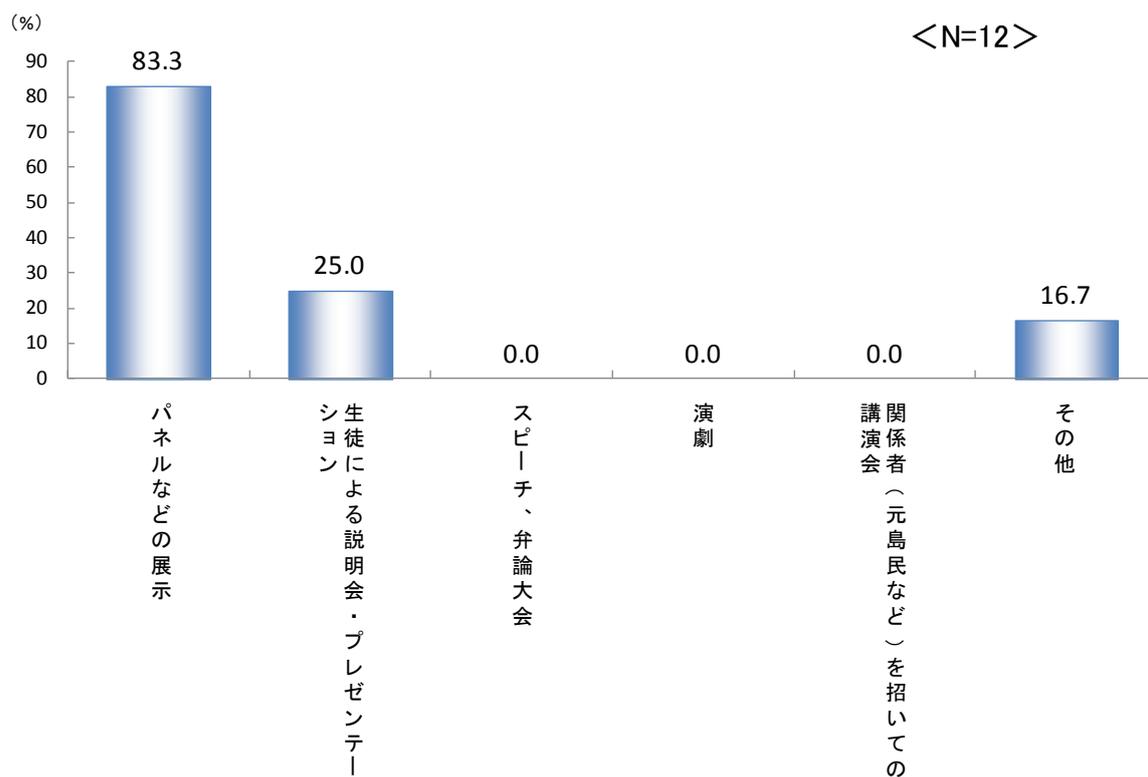
※◎：全体より 10 ポイント以上高い、○：全体より 5 ポイント以上高い、▲：全体より 10 ポイント以上低い、△：全体より 5 ポイント以上低い

② 「北方領土問題」をテーマにした文化祭での活動について

1) 活動内容

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q10. 文化祭で「北方領土問題」をテーマに活動された内容はどのようなものでしたか？(〇はいくつでも)

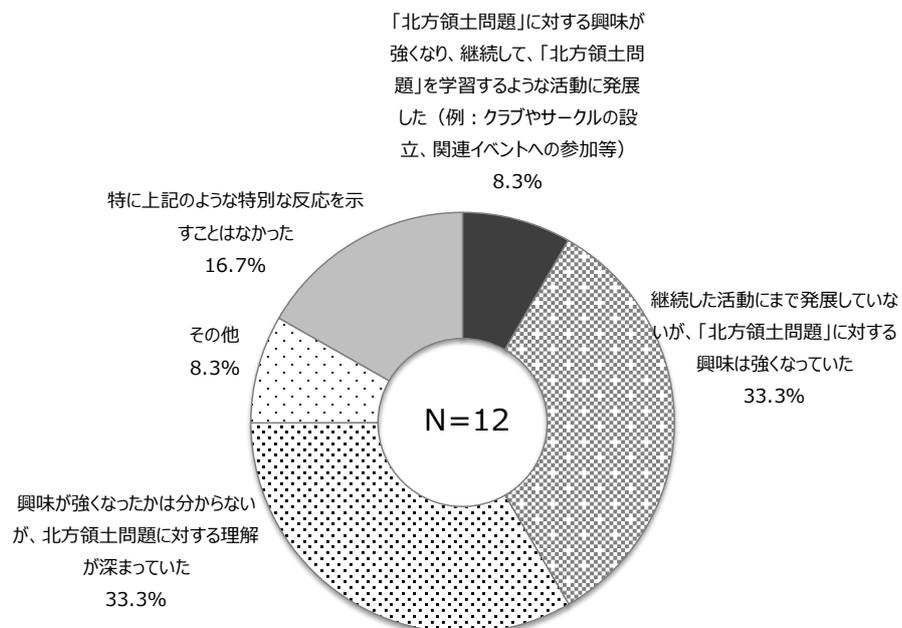


※その他、詳細無記入

2) 文化祭での取り組み後の生徒の反応

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q11. 文化祭で「北方領土問題」をテーマに活動した後、取り組んだ生徒さんは、どのような反応を見せていましたか？（○はひとつだけ）



③ 「北方領土問題」をテーマとした修学旅行について

1) プログラム内容

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q12. 修学旅行では、『北方領土問題』に関連する地域や施設等として、どのような所を訪れましたか？

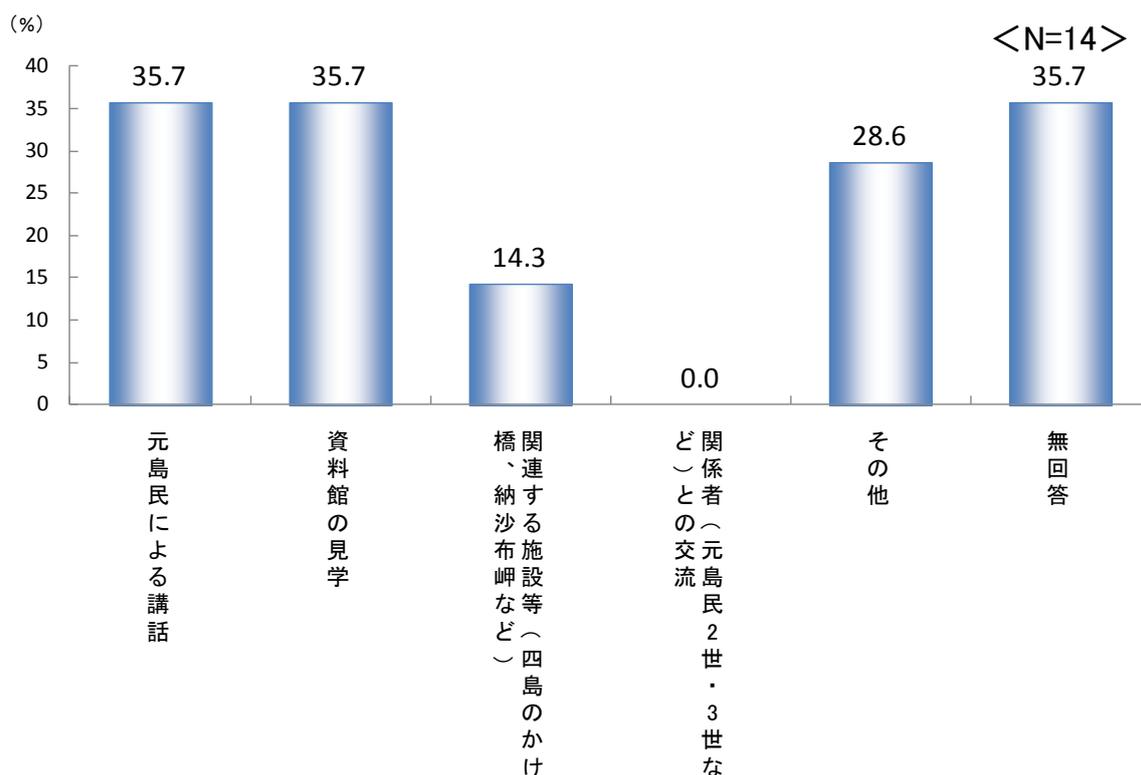
以下の空欄にご記入ください。

【回答一覧】

- ・ 知床～国後島
- ・ 根室市 北方四島交流センター「ニホロ」 納沙布岬 北方館 歴史と自然の資料館
- ・ 野付半島から遊覧船に乗船し、船上から国後島見学。標津公民館「あいぱる」にて、元島民の方による北方領土講和。

Q13. 修学旅行では、『北方領土問題』に関連するプログラムとして、どのようなものがありましたか？

(○はいくつでも)



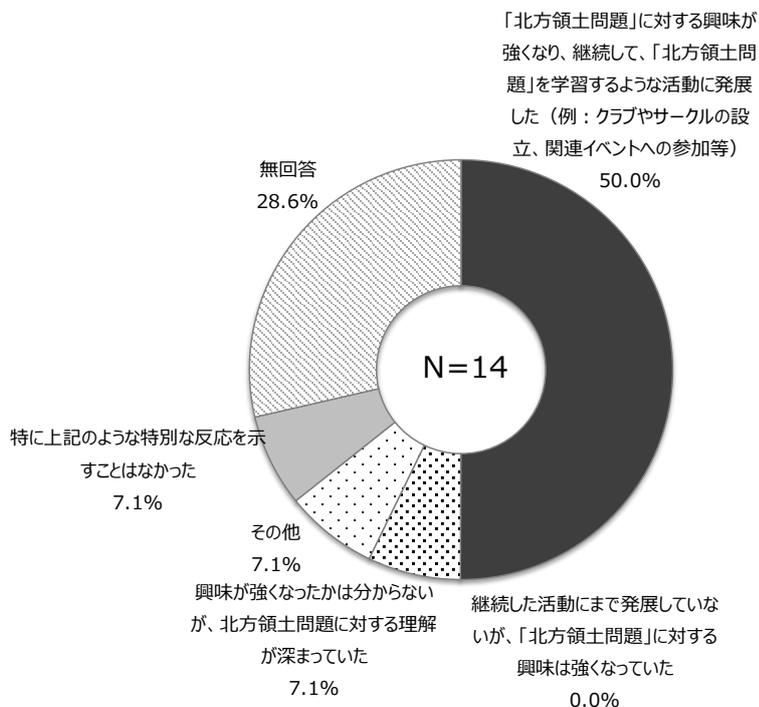
【その他回答内容一覧】

- ・ 根室市 北方四島交流センター「ニホロ」、納沙布岬 北方館、歴史と自然の資料館の見学
- ・ 野付半島から遊覧船に乗船し、船上から国後島見学
- ・ 標津公民館「あいぱる」にて、元島民の方による北方領土講和
- ・ 事前学習はしましたが、関連する地域には行ったことがない

2) 関連施設などを訪問した後の生徒の反応

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q14. 修学旅行で「北方領土問題」に関連する地域や施設等を訪問した後、生徒さんは、どのような反応を見せていましたか？（○はひとつだけ）

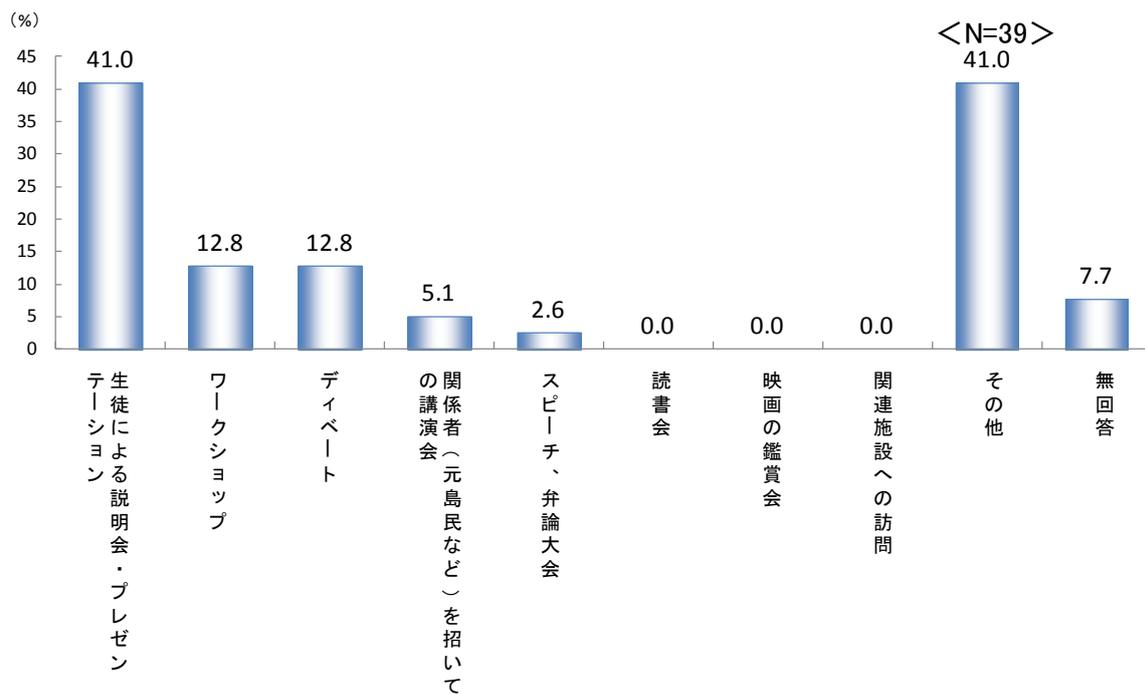


④ 「北方領土問題」をテーマにした総合的な学習の時間や課外授業について

1) 活動内容

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q15. 総合的な学習の時間や課外授業の中で、「北方領土問題」をテーマに取り上げた際、どのような活動を行いましたか？(〇はいくつでも)



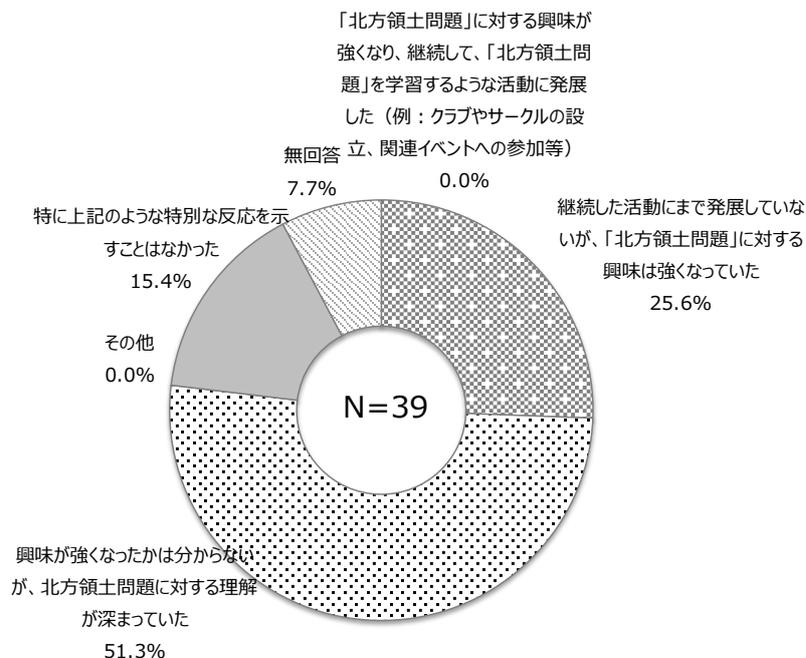
【その他回答内容一覧】

- ・ 教員による講義形式
- ・ 問題演習の中で他の領土問題との相違点を明らかにする
- ・ 調べ学習

2) 活動後の生徒の反応

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q16. 総合的な学習の時間や課外授業の中で、「北方領土問題」をテーマに取り上げた後、生徒さんは、どのような反応を見せていましたか？（○はひとつだけ）

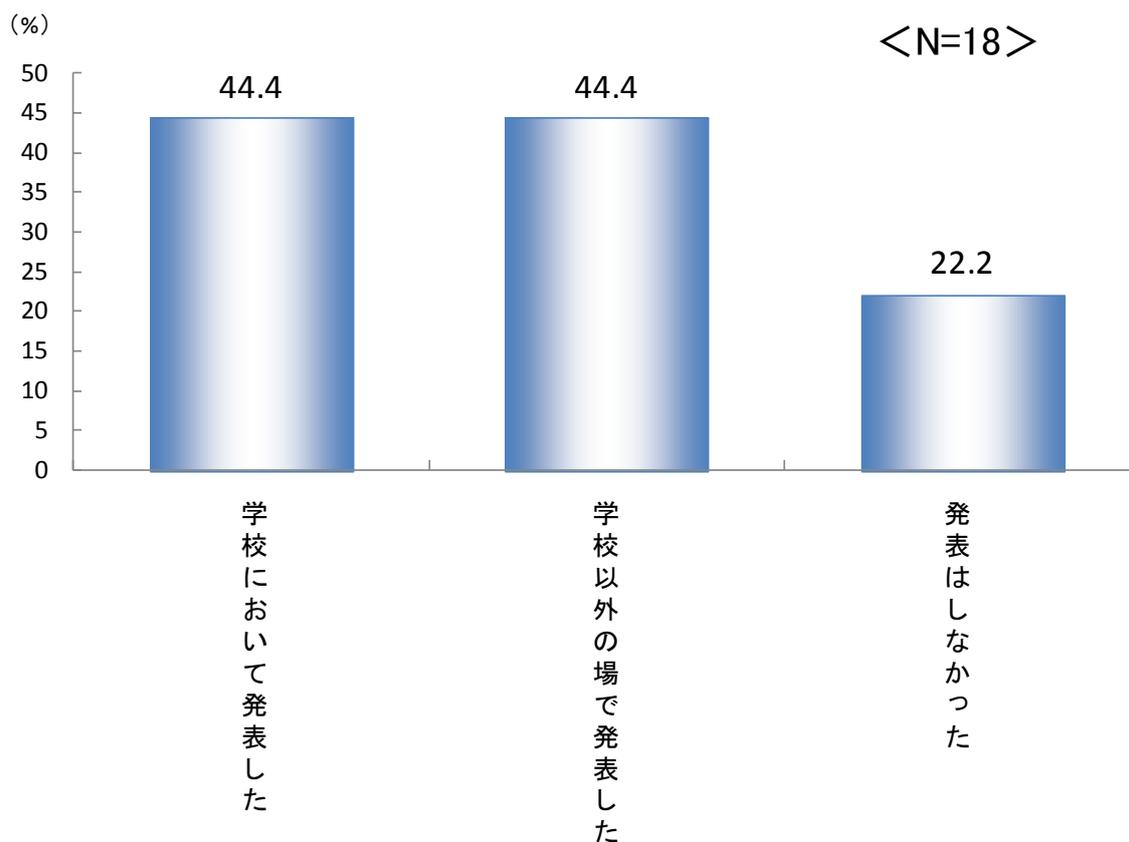


⑤ 北方四島交流事業（北方四島の訪問/住民の受け入れ）

1) 活動内容参加後、生徒による体験内容など発表の有無

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

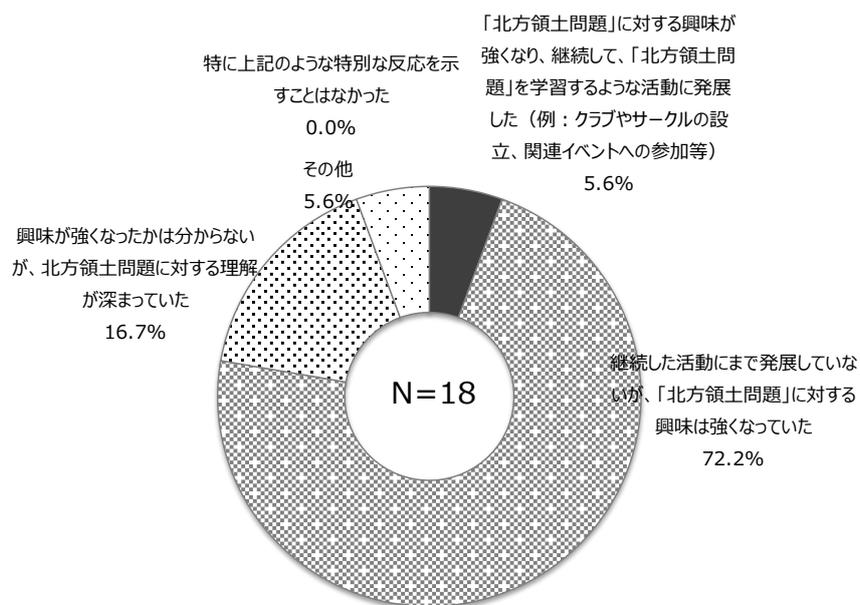
Q17. 北方四島交流事業（北方四島の訪問/住民の受け入れ）に実際に参加された生徒さんが、その後、参加して感じたこと、学んだことを発表しましたか？（〇はいくつでも）



2) 参加後の生徒の反応

※サンプル数が少ないため、参考として記載。

Q18. 北方四島交流事業（北方四島の訪問/住民の受け入れ）に実際に参加された生徒さんは、その後、どのような反応を見せていましたか？（〇はひとつだけ）



c. ヒアリング調査結果

調査の対象は北海道内の学校が4校、それ以外が25校。

「北方領土をテーマにしたきっかけ」「北方領土問題をテーマとして取り組むことに、生徒が前向きではなかった学校には、どのように取り組んでもらったのか」「取り組み後、どのような発展があったか」を聴取した。

<北海道の高校>

A 高校では、10人程度の部員が在籍する「北方領土研究会」があり、同じ市内の高校と共同での研究や授業の一環としての話し合い発表会、署名活動を行っている。

B 高校では、北方領土を考える高校生大会というのがあり、ビラまきやその大会参加の親や他校生との交流も進めたり、学校祭のパネル作り、外に出たの署名活動なども弁論部の部員には積極的に進めて活動を促している。

C 高校では、たまたま1人の生徒が4年前に領土問題の交流事業団体の活動に加わり、四島訪問を個人の立場で行ってきた。一方で、残念ながらこの学校ではその学生に対してサポートがうまくできなかったということで、学内では敢えて発表をさせる場を設けてやることができなかった。そういった熱心な学生がいたときにどういう風に学校側で対応することが必要なのか考える必要がある。

<その他地域の高校>

その他地域の高校のなかには、30年前から4クラス160人中半数が道東旅行を行っており、生徒の方からテーマを決めて道東研究に取り組んでいるところもある。根室に一泊、時として日帰り旅行をしながら、根室市内の高校と共に北方領土に関する施設や場所に行き、出前講座なども受けている。それらのことは、生徒の北方領土への関心を深める効果を上げ、持続した研究をして取り組むようになってきているという例も聞かれた。

また、その他の高校では、「ニュースなどで領土問題、中国や尖閣など日本近海の領土について話題になる中で、北方領土については印象が薄まっている気がして、敢えて自分は北方領土問題を提起してみた」「教師の自分が一番この北方領土問題に関心を強く持っていて、生徒たちを誘いかけて部活やクラブというより、1~3人程度の生徒と放課後語り合ったり、展示物を作るための教材を自分が用意して、生徒に作らせたりしている」というケースもあった。